

Title	出張報告
Author(s)	
Citation	国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学技術サービス部業務報告集 : 平成23年度: 107-108
Issue Date	2012-08
Type	Others
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/10816
Rights	
Description	

出張報告

岡本 忠男

情報社会基盤研究センター

概要

情報社会基盤研究センターでは情報環境と総称する、多種多様な機器・サービスを全学に対して提供中である。本学新生が情報環境の有用性を認識し、また十分に活用していけるよう導くために、入学後の早い時期にオリエンテーションを実施している。これは東京サテライトにおいても開催されており、情報社会基盤研究センター担当技術職員は現地で説明等を行っている。ここでは東京サテライトのオリエンテーションに関する出張について報告する。

期間：2011年4月2日（土）～3日（日）

期間：2011年10月1日（土）～2日（日）

用務先：北陸先端科学技術大学院大学東京サテライト

用務内容：新生オリエンテーション

1. 東京サテライトの新生オリエンテーション

情報社会基盤研究センターが行う東京サテライトでのオリエンテーションは、情報社会基盤研究センターが提供している情報環境機器とそのサービスについての説明が主な内容である。情報環境には、情報社会基盤研究センターが提供しているネットワーク、ファイルサーバ、計算サーバ等の基盤設備から、プリンタやThinClient等の端末類までの、多種多様な機器・サービスが含まれる。その一方で、用意される時間は研究科や他部局のオリエンテーションとの同日開催のため、1時間未満と非常に短い。また、東京サテライトの学生は社会人学生が多く、東京サテライトからではなく会社または自宅からの情報環境利用の頻度が高い。このため、東京サテライトの特性や事情に特化した構成、つまり、情報環境の基本事項と、会社や自宅など学外から情報環境を利用する方法の説明と準備作業に絞り込んだ内容でオリエンテーションを行っている。

2. 学外から情報環境を利用するための作業

情報環境はセキュリティの観点から、基本的に学外からの直接のアクセスはできない。学外から情報環境にアクセスするには、SSL-VPN装置を介してVPN接続を確立する必要がある。これによって、会社や自宅などの学外からも東京サテライトにいるときと同様に情報環境を利用できる。

そこで、オリエンテーションの時間内に、VPN接続を利用するのに必要な作業と、それに関連する作業を新生が一通り実行する。作業項目は次の通りである。

(1) 電子証明書の取得（図1）

SSL-VPN装置にログインするために必要である。

(2) メールアドレスの変更（図2）

電子証明書にメールアドレスが含まれる。このため、電子証明書発行の前に初期メールアドレス（s9999999@jaist.ac.jp）を希望のものに付け替えておくことを推奨している。

(3) パスワードの変更

アカウント通知書に書かれている初期パスワードを変更することを推奨している。

これらの内容について一通り手順の説明を行った後、時間内に完了できるように、作業中に躓く学生に対するサポートを適宜行う。

発行された電子証明書は各自の利用環境で Web ブラウザにインストールする必要があるため、新入生は USB メモリ等にそれを格納して持ち帰る。USB メモリについては持参するように予め連絡してある。また、これらの作業を新入生全員が短時間で一斉に行えるように、原則として 1 人 1 台の PC を予め用意している。



図 1. 電子証明書発行システム

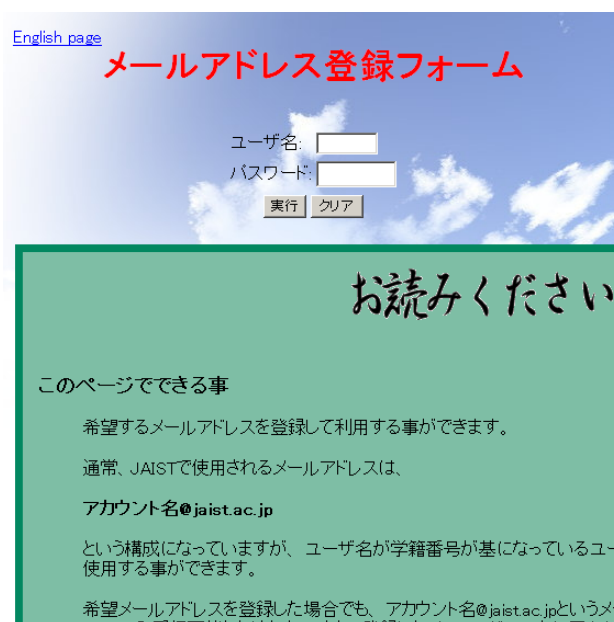


図 2. メールアドレス変更画面

3. 今後の課題

現状では、新入生が最低限必要とするであろう電子証明書を発行するための作業に、オリエンテーション当日の時間を使わざるを得ず、その結果として情報社会基盤研究センターの提供するサービスの紹介が十分に行き届いていないとは言えない面もある。また、1 人 1 台の PC の環境を構築・設定するのに時間がかかる点についても効率の面から最善とは言えない。

これらを改善するため、電子証明書を予め発行して配布しておき、新入生はダウンロードするだけで済むようにするなど、方策を検討したい。